

最優秀に杉浦さん(原小)

二酸化炭素削減 138人が3カ月で計62トンの排出削減

エコレンジャー

エコレンジャー活動の報告会と表彰式は23日、宇部市立図書館で関係者

約150人が出席してあり、省エネに特に顕著な成果を上げた杉浦新湖さん(原小2年)が最優秀賞に輝いた。市地球温暖化対策ネットワーク(U-NCCA)、FMきらら共催。

低炭素社会を目指す環境省の気候変動キャンペーン「Fun to Share」事業の一環として実施。市内外の幼児から中学生までを対象に省エネを実践する「きららゴン戦隊エコレンジャー」隊員宣言してもらい▽植物を育ててグリーンカーテンを作る▽早寝早起き▽家族での外出はバスや電車を利用などの地球温暖化対策になる取り組みを昨年の3カ月間、してもらった。138人が参加し、その成果を電気、ガス、水道料金などで1年前と比べてチェックしたり、地球に優しい活動を評価したりして各賞を決めた。



省エネの取り組みを披露する最優秀賞の杉浦さん(市立図書館で)

宇部日報

2016年1月26日

表彰式では井上悟FMきらら社長が「ちよっとしたことでも長く続ければ結果が出る」、溝田忠人UNCCA代表が「今回で省エネを終わらせず、ずっと続けて」とエールを送った。

最優秀賞の杉浦さんは「電気を小まめに消すよう頑張った」と振り返った。

今回のエコレンジャー活動に参加した隊員は、合わせて62人の二酸化炭素排出量削減成果を上げた。これはガソリンを満タンにした車500台分が排出するCO₂量に匹敵する。(浅野)

受賞者は次の通り。(敬称略)

▽最優秀賞▽杉浦新湖(原小2)▽フアミリー賞▽河村春菜・勇希▽UNCCA賞▽小川勝登▽FMきらら賞▽藤本周彬・一結

▽優秀賞▽木原端貴、磯部真結子・征爾、戸田ゆう太郎、西村成慈、

中司崇史、村山創希、寺本惇・琴音・舞子、藤本田智貴・裕貴・美貴、吉知幸